

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| . 理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| . サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|-------------------|
| 事業所名 | グループホームかたらい |
| (ユニット名) | |
| 所在地 (県・市町村名) | 鹿児島県鹿屋市笠之原町1321-1 |
| 記入者名 (管理者) | 園内 信子 |
| 記入日 | 平成 21 年 9 月 29 日 |

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|-------|----------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | かたらいの理念・・・「かたらいはあなたの我が家です。」一人一人の気持ちを尊重し、あなたが不安になった時寄り添いあなたと共に地域の方と一緒に楽しく生活できるグループホームです。職員は理念を確り頭において、支援している。 | | |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念をホールに貼ったり、事務所に貼ったり、朝のリハビリの時間に利用者さんと一緒に唱和し、利用者さんに寄り添ったケアを意識している。 | | |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 重要事項や推進会議、家族会、かたらい便り、玄関に掲示等でお知らせしている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 隣近所の方が、通りかかった時等、挨拶をし時間があればお茶などに誘って交流をしている。また行事等への参加を呼びかけている。 | | |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 行事等への参加のチラシを配って、一緒に楽しんだり、近くの保育園に運動会へ参加をさせていただくことや、中学生の体験学習の受け入れ、ボランティアの踊りやマジックショーなどの受け入れ又グランドゴルフ見学等で地域参加を図っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 行事等の参加への呼びかけにより、地域の方と交流を深め、独居の方への声かけ支援を密にしている。また利用者さんが介護度の重い方が増えて、他に眼を向ける余裕がないのが現状。だが認知症の人をサポートできる認知症サポーター養成講座に参加したりして、推進会議などで勉強会を開催している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 外部評価の結果を参考にして、見直し、ステップアップを図っている。職員や家族会又推進会議でも取り上げ改善へ取り組んでいる。ホームの研究計画を作り職員全体でのスキルアップを目指している。 | | |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 外部評価の結果を運営推進会議で報告し、改善点を一緒に話し合い意見を交換して改善に取り組んでいる。前年度は年間研修計画を作成して無かった事の指摘で、今年度作成し、スキルアップにつなげる。 | | |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市役所に出向いた時等、行事報告や便りを持参し目通しをお願いしている。又事故報告などの文章作成等指導をして頂いたり資料等を頂いている。 | | |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 管理者、スタッフは研修等で理解している。昨々年までは対象者が1名いたが、その方は御家族の支援を貰える事になって対象者はいないが必要性があれば、相談してゆける体制はある。 | | |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待については話し合いをし、利用者の方との対応に考慮しながら、一呼吸おいての接し方をしている事や声かけから来る虐待などもある事等職員同士で注意し合い意識向上に努めている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|--|-----|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | その時点で契約は結ばず、ご自分でよく読んでもらい、質問など説明、理解して頂き、納得して頂いてから同意書に捺印して頂いている。 | | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | 運営については、運営推進会議を利用者とその家族交代で出席してもらいながら、意見を反映する機会を設けている。 | | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | 面会時や家族会推進会議や担当者会議等、又特に異常や変化の時には電話で相談し、説明を行っている。 | | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | ご家族の苦情が上がらず、言い難い苦情を引き出せるように、担当を2名にして、普段の会話からも、気になる事は職員内で検討し、次回に来られた時に聞いている。 | | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | 職員会議などで、上司に相談やお願いをする機会がある。 | | |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | ご家族の状況を把握して、外出の希望などで出来ない時の、お願い等考えている。職員が少し無理をして対応することもある。 | | |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | 離職が2年間ないが、職員移動で他へ移った方1名ですので、残りの職員は変わらずいる事は、馴染みの関係が保たれている。また入れ替えがある時は常に利用者へ報告して理解していただくようにしている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|--|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 年間計画を作成して順番で研修に行ける体制。運営者が、職員の勉強の機会を設けてくださり、研修内容を勉強会で他の職員と共有している。 | |
| 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同グループ内での研修や交流の場を持ち、それぞれの良い所を取り入れている。 | |
| 21 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 同グループ内の交流会(食事会)や慰安旅行等で交流したり、職員同士での食事会を開催している。 | |
| 22 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 管理者は、職員の長所や得意分野を伸ばせるように努めている。得意なものを誉めようとしている。 | |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 緊急に入所される場合以外は、入所前に見学していただきご本人に当グループホームの雰囲気を感じて頂いてから入所して頂いている。 | |
| 24 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 入所希望の方は、長崎内科相談員が窓口となって受け付けてご家族の相談にのって、ご本人と共に相談を受けています。 | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|-----|----------------------------------|
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人の希望とご家族の意向をしっかり受け止め、その方に合ったサービスを進めている。 | | |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入所希望があったら、まず見学を進めて、時々お茶飲みなどに来て頂けるようお願いしてから入所して頂く様にしているが、緊急の場合は別である。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 先輩方々の知恵を借りながら、昔懐かしい料理等を作るように心がけたり、習慣を習っている。(料理等、御煮しめ、ピーナツ豆腐、とこるてん、お団子)(野菜等の作り方や種蒔きの時期などを教わる) | | |
| 28 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 行事や家族会等で一緒に楽しい時間を過ごす事が出来る機会を作ったり、その方が望んでいるご家族との外出等は、プランに入れて支援を願ったりしている。 | | |
| 29 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ご本人が安心して生活が出来るように、またご家族の事が気になられるような時は連絡をし面会に来て頂けるようにしている。 | | |
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | お墓参りを一緒にしたり、お友達の面会等は、気持ちよく来て頂けるように、声掛けをしている。 | | |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 食事やお茶のとき、皆様と一緒に声掛けし、ご本人が快く楽しく飲んだり食事が出来るようにと職員全員心がけている。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 入院で退所となっても、ご家族の相談にのったり、その方の行かれた先を訪れて、関係を続けている方もいる。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 一人一人の希望を聞きながら外出の支援や対応をしている事や行けない時は、家族の協力を得て対応している。 | | |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族の面会時に常に声をかけてその方の以前の生活の把握をしたり、また各担当を決めていて、その方の事は担当で把握するようにしている。 | | |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | その方の力量を踏まえ、声掛けするようにし、その方が辛そうなときは休んで頂いたり、運動不足と思えば散歩に誘うなどその方に合った支援をしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ご家族の方は、希望や意見の引き出しが難しく、ご本人の思い等を伝えながらご家族に担当者会議への参加を声掛けして一緒に話し合い介護計画に作成するようになった。 | | |
| 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 回復が早急に出来そうなのは作り直さず、職員連絡ノートで統一したケアで実施して、大きく変わった時はプランの見直しを早急に行っている。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護経過に記載をするが、皆に知ってほしい事は、連絡ノートで目通しできるようにしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 of 要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ご家族に相談して難しいところは、支援できる事はしている。遠方の方には特に、役所の用事や墓参りや受診同行したりしている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 地域の運動会等に、参加をさせて頂く等は行なっているがその他には運営推進会に民生委員の方や、町内会長さん老人会長さん、消防団長さんに入っただき知恵をもらうようにしている。 | | |
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 特に本人の意向はないが、気分転換にデイサービスの送迎等に同行して頂いたりしているが、前ケアマネさんは来所されるが他のサービスは特に使っていない。 | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 本人の意向を聞いた上で、自宅に帰れるように包括センターの方に相談を持ちかけたりしている。又、運営推進会議に参加してもらっている。 | | |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご家族の意向やご本人の意向を踏まえて、かかりつけ医を事業所系列などへ変更したり、またご本人の専門医などの受診等は、意向を大切に同行している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|------|----------------------------------|
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 主治医も認知症は詳しいが、専門医には主治医の方で、紹介状を作成して頂く様指示されている。 | | |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 医療連携の看護師を2名お願いし、状態変化等を相談した上で、ドクターに報告してもらい相談・指示を受けている。 | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 病院に入院されたら職員交代でお見舞いし声掛けすることで安心して帰所出来るように努めている。認知が進まないよう又、病院も早期退院をさせて、医療的なことの支援を最大限にしてくれる。 | | |
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化の指針は決めているが、入所時にどうしたいか聞いてはいる。レベルがだんだん落ちていく中での、ご家族との話し合いは行なっている。 | | |
| 48 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 重度化の指針を作っているので、ご家族と共に又ドクターに相談しながらの支援を行なっている。 | | |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 今まで重度化して、その方が皆さんから、いろいろ言われて、とても気にされたり元気が無くなったり辛そうな時は、状況を見て、その方の居場所をどうしたらよいか考え、話し合いして、ベストではないかと他に移られた方もいる。ご本人が気にされなければ職員は、その方の居心地を確り見て相談していきたいと思っています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|----------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>その方が、表示等はその方の意向を伺い、了承の元で掲示している。言葉の掛け方も、皆さんの前で言わずそっとトイレ等へ行ってもらう等配慮している。</p> | |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>食事で食べたい物を、聞いたり、その方が希望されなければ無理強いなどせずじっくり話し、納得される事の支援をしている。</p> | |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>その方のペースを大切にしているが、日課を決めている。しかし、ご本人が希望により参加したくない場合その希望を尊重している。</p> | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>その方の行きたい美容室等に支援をしていたが、高齢になれば希望されなくなった方もいるし、声掛けをすると馴染みの美容室に出られる方もいる。</p> | |
| 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>食事の準備で、好きな方が、職員に教えることも多いでしたが筋力の低下などで難しくなってきたり、座って出来る簡単な事はして下さる。盛り付けなどもされるが、出来る方が少なくなってきた。</p> | |
| 55 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>ご本人がご家族と話し合っ買って来て飲んでいらっしゃる方もいるが、その他の方は、行事などやときに進めるくらいである。喫煙の希望の方はいない。</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 56 | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 定期的な声掛けで、そっとトイレ誘導を行ったり、リハビリパンツの汚染の確認もその方だけに聞こえるよう外から声掛け、そっと声掛けそっと交換支援している。 | | |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 曜日は決めているが、汚染のときなどはシャワー浴などを実施している。介助を要する方が増えて職員も数が少なく毎日の入浴は実施出来ていないが、声掛けに特に希望は上がっていない。暑い時などにはシャワー浴をと声掛けし、希望の時は実施している。 | | |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 消灯時間は決めているが、ご自分の就寝したい時間には居室に入られて休まれる方、暖房や冷房もご本人希望で室温の調整を行なって快適な睡眠の支援をしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | その方の好きな外出や、お花の好きな方と楽しみのある生活をとショッピング・ドライブなどの支援と、何か出来ることの支援、食事のちょっとした下ごしらえなどしてもらい、常に出来ることの喜びを感じて貰うようにしている。 | | |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金を持てる方には、ご自分で買い物をしたいと希望が上がったり職員と一緒についていく。 | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気の良い日は、なるべく外の空気に触れるように、玄関先でも良いのではと、出たり、散歩で近くの花屋に出かけるなど外気に触れ季節感を味わえるよう支援していく。 | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ご自分が望まれる事の機会を設ける支援、実施される家族されない家族があるが、プランに入れて実施を実現できるようにしている。また外出の支援は、家族と一緒に花見など、年間計画に入れて毎年春に実施している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|------|----------------------------------|
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご自分で電話したいといわれると支援している。また、こちらから出来ない方にはご家族の方から電話して下さるよう声掛けしている。 | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会があったら、歓迎して、自室でゆっくりくつろいで一緒にお茶を飲んで貰う支援をし、また次回も来ていただけるよう声掛けをしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束はないが、言葉の拘束がある時などは認識して支援をするように話し合っ実施している。 | | |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 理解はしているが、道路付きの玄関である事と家族と話し合いご家族の希望でもあるので、一応施錠はしているが、ご本人の希望で一緒に出ている。 | | |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 一人一人の居場所の確認はしている。他の方に居室に入られるなどあるので、注意している。また歩行の不安定な方が多い為常に転倒などないように目配りをしている。 | | |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 衣類のボタン等ちぎって口に入れられるなどあったのでマジック式に取り替えたり、洗面所石鹸を口にされたりで、設置方法の改善と衛生面を考え液体石鹸に取れ変えた。 | | |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 転倒防止センサー設置、誤嚥しやすい方には、水分を勧めるタイミングで声掛けたり、行方不明には連絡先の配布、火災時の対応の訓練など実施している。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 70 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 応急処置の訓練を職員は受けている。また今年度もスタッフに研修を受ける準備もある。 | | |
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練は2ヶ月に1回実施する事を決めて実施している。 | | |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 入所時に説明して、またご本人がご自分でされることを無理にこちらでするのではなく、できる事をして貰い危険も含まれる場合の理解も含め生き生き出来ることを話し合っている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 体温調整の出来にくい方、血圧の高めの方、低い方、血糖が低くなりがちの方とそれぞれ変化に気づけるよう状態観察できる知識をもち対応も出来るように学んでいる。(毎日のバイタル測定) | | |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 排便などの確認と下剤の管理、また血圧測定し、与えてはいけない方など常に把握して管理している。 | | |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 水分量の把握や食事・体操・散歩・腹部マッサージ等その方に応じて実施している。便通の良いバナナ・牛乳・ヨーグルトを取り入れている。 | | |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後の口腔ケアで、その方の力量に応じて、一緒にしたり、声掛け・準備と支援し、夜は自分で出来ない方には職員が義歯洗浄を行なって自分で出来る方には声掛けする。十分に口腔清潔行き届かない方には、うがい液を取り入れたり工夫した支援をしている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事・水分摂取量の把握と声掛け食事の提供を刻みにしたり、つぶして提供したり工夫しているが、認知が進んだ方には、ミキサー食の提供も取り組んでいる。 | | |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルを作成したり、ノロウイルス等はすぐ使えるようにバケツに準備している。消毒液の設置。 | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | マニュアルに添って手洗いの徹底、賞味期限等チェックしたり、生ものを切ったまな板など沸騰したお湯で消毒している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 門扉は開放して、だれでも立ち寄りができるようにしている。玄関に季節の花を並べ、通行される方との会話が広がる工夫やチャイムを設置して、いつでも受け入れるようにしている。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールに花を飾ったり、カレンダーを手作りしたり、飾りつけもその季節に応じて、飾っている。 | | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ゆったり過ごせるソファを設置し、好きなところで過ごせるようになっている。少し狭いがそれぞれ個々に過ごされている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室はご家族が飾り付けをされたり、家具の持込などでゆっくりにくつるげようになっている。泊まりの部屋は、特別作っていないので一緒に泊まっていたい。 | | |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 換気はこまめにしていて温度調整も、皆さんの希望に応じて調整に努めている。常に室温チェックもしている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 家具の配置室内入り口のスペース確保、(車椅子、シンパーカー使用に応じて)、ご自分の居室がわかる様に名札をつけたり、出入り口の飾り物で判別できるようにしている。 | | |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 一人一人の残存機能を把握して、趣味やしたい事したい時に出来るようにと支援している。 | | |
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 玄関へ出てイスに座られるようにしたり、花を見たり、菜園での野菜の収穫をしていただいている。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

かたらいは、開所当時から、朝は皆さんと一緒に掃除から始まり、出来る方が少なくなっているものの、1日の流れを進めてきた(ご本人の気分ののらない時はしなくても良いし)ホームで、皆様の元気を維持しようと努め、またその方の出来ることを一緒にする。生活できる事と此処に生活されている方は、職員より先輩であり、尊敬の気持ちを忘れず言葉を選択して、寄り添う事を目標にし実践している。また、ご家族の代わりには出来ない事をご家族に理解して頂き常に訪れてもらう事をお願いしている。